

豚熱（CSF）対策にかかる防疫措置の手引き

※ 詳細は、環境省 HP「CSF・ASF 対策としての野生イノシシの捕獲等に関する防疫措置の手引き」を参照。（可能な限り御協力願います）

※ 必要な資材は捕獲重点エリアの対象となった市町村へ配布します。

野生イノシシ捕獲・止め刺し時の服装

○捕獲・止め刺しの際には、防護服、マスク、手袋、長靴を着用するなどし、衣類等への血液付着を防いでください。（※防護服は、タイベック限定ではなく、じゅうぶん衣類の汚れを防げるもの（雨ガッパ等）での代替が可能です。）

○長靴、猟銃、ナイフなど使い捨てできない物は、じゅうぶんに消毒し、その他はビニール袋にまとめて、焼却処分してください。

（ビニール袋の外側に消毒液（パコマ）を噴霧してください。）

※消毒薬の濃度調整（希釈）の目安

水	消毒薬		
	5ml	10ml	20ml
1 L	200 倍		
2 L	400 倍	200 倍	
4 L	800 倍	400 倍	200 倍
5 L	1,000 倍	500 倍	250 倍
10 L		1,000 倍	500 倍
20 L			1,000 倍

（例）パコマを 400 倍に希釈する場合の調整方法

2 L ペットボトルに水を入れ、ペットボトルのキャップ 1 杯（1 杯約 5ml）の消毒薬原液を加える。



消毒薬の希釈



足元の消毒



わなの消毒

現場作業後、駐車場での消毒

1 手袋の消毒等（駐車場所到着時）

- 手袋をアルコールスプレーで消毒してから車のドアを開ける。

2 捕獲個体と荷物の積み込み

- 車両の荷台等に、汚染防止用のブルーシート等を敷く。
- イノシシを包んだブルーシート等を改めて消毒してから積み込む。
- 現場に持ち出した猟具、器具などは、全て改めて消毒してから積み込む。
- 現場で出た汚物等の入ったゴミ袋は、外側に消毒液を噴霧し、そのまま別のゴミ袋に入れて二重にし、再度外側を消毒して積み込む。

3 猟犬の消毒

- 体表及び足裏の泥汚れなどを十分に落とす。
- 可能であれば、体表、特に足裏に消毒薬を噴霧し、消毒することが望ましい。
- リード等の器具を消毒した上で、荷台に乗せる

4 車両の消毒

- タイヤとタイヤハウス内は、ブラシ等で土や汚れを落とす。
- タイヤや車両で土や汚れが付いた部分を中心に、消毒薬の噴霧器で消毒する。
※タイヤは作業現場から出る際にも消毒する。

5 全身、手袋、長靴の消毒、乗車

- 長靴の泥、落ち葉などをブラシなどで取り除く。
アルコールスプレーや消毒液で全身を消毒し、作業靴等に履き替える。
- 長靴と使用したブラシを消毒薬の噴霧器で消毒し、ビニール袋等に入れる。
- 手袋を外し、手指をアルコールスプレーで消毒する。
- 作業靴等の裏とドアノブをアルコールスプレーで消毒してから、乗車する。